



第49回県民芸術祭参加事業 令和7年度ぐんま伝統芸能ワークショップ

常将神社太々神楽再興100周年記念事業



作って、見て、学んで、体験する

常将神社 太々神楽 ワークショップ

2026
2月8日(日)
13:30 - 16:00

入場
無料
(要申込)

会場 しんとびあ(新公民館)多目的ホール(榛東村新井152番地)

対象 小学生以上(低学年は保護者同伴)

大人の方、保護者の方の
ご参加も大歓迎!

内容 神楽の解説、神楽面の作成、神楽の鑑賞・体験

持物 動きやすい服装、飲み物

定員 30名程度(先着順)

申込期間 令和7年12月13日(土) 8:30~

**お申込み
お問合せ**

027-243-7200(直通)

公益財団法人群馬県教育文化事業団 事業支援課

受付時間 8:30~17:00 (日曜・月曜・祝日、月曜祝日の場合は翌火曜日及び年末年始を除く)

過去の開催分を
YouTubeで配信中!



講師

常将神社太々神楽部



講師紹介は裏面をご覧ください▶

主催 群馬県、公益財団法人群馬県教育文化事業団 共催 榛東村教育委員会

後援 群馬県教育委員会、渋川市教育委員会、上毛新聞社、第49回県民芸術祭運営委員会

協力 大宮神社獅子舞保存会、新井八幡神社太々神楽講、南新井獅子舞保存会、広馬場神楽舞保存会、宿稻荷神社獅子舞保存会

◆常将神社太々神楽部◆



常将神社は約1000年前の千葉常将という人物をまつています。現在の場所に神社が建てられたのは今から300年ほど昔と伝わっています。太々神楽は130年くらい前に途絶えてしまいましたが、今から100年くらい前に、広馬場の聖宮(ひじりぐう)神社の人たちから教わって、山子田地区の人たちが復活させたのだそうです。毎年春と秋に行われるお祭りで見ることができます。

◆大宮神社獅子舞保存会◆

昔から大宮神社の獅子舞を神様にささげると雨が降ると言い伝えられていて、日照りや畑の作物が育つか心配なとき、村の人たちは吉岡の船尾滝の滝つぼに行き獅子舞をします。神社のとなりには、人びとが困ったときに雨を降らせてくれた獅子舞に感謝して、約100年前に村の人が建てた石碑があります。

◆新井八幡神社太々神楽講◆

八幡宮は今から800年くらい昔、このあたりをおさめていた桃井氏が、鎌倉の八幡宮から分けて建てた神社であると伝わります。いまの神社の建物は約110年前に建てられました。八幡宮で行われている太々神楽は約150年前に前橋市の総社神社から伝えられました。毎年春のお祭りの時に見ることができます。

◆南新井獅子舞保存会◆

八幡宮に伝わる獅子舞で、世の中が平和であることや農作物がたくさんとれることを願って行われます。今から約300年前に始まったとも、甘楽郡の那須というところから伝わったともいわれます。八幡宮の秋のお祭りなどで見ることができます。

◆広馬場神楽舞保存会◆

約650年前にこの地をおさめていた領主の桃井直常が、立派な馬に乗って家来を引き連れ、聖宮神社で武術をして見せました。その時に人びとは太々神楽を見せてお祭りをしたこと、毎年4月15日を聖宮神社のお祭りの日にしたと言われ伝えられています。毎年春と秋のお祭りで見ることができます。

◆宿稻荷神社獅子舞保存会◆

宿稻荷神社の建物は約180年前に建てられました。建物のまわりに立派な彫刻が飾られています。獅子舞の獅子頭は神社の彫刻の作者と同じ、勢多郡の石原常造という職人が作ったそうです。獅子舞は毎年2月のお祭りで見ることができます。